

今月は、世界の“戦う”軍用機の特集だ! オスプレイの初・空撮レポートも必見!!

JWings

「Jウイング」戦闘機が楽しくなる
ミリタリーマガジン

11

2014
No.195

【過去最大5兆545億円!!】
防衛省の概算要求、注目はココ

世界の 戦闘機 & 攻撃機

FUNDAMENTAL KNOWLEDGE OF
FIGHTERS AND ATTACKERS

2014

オスプレイを日本上空で初空撮!



アメリカ

Photos & Text by Phodocu

アグレッサー飛行隊パイロットのヘルメットには、旧ソ連を意識した赤い星のマークが

アメリカ空軍はネバダ州ラスベガスのネリス空軍基地とアラスカ州アイルソン空軍基地に、訓練や演習で仮想敵を務めるアグレッサー（仮想敵）飛行隊を置いている。

レッドフラッグ演習の舞台として世界的にも有名なネリス空軍基地では、第57航空団隷下に第64アグレッサー飛行隊（F-16C/D戦闘機を運用）、第65アグレッサー飛行隊（F-15C/D戦闘機を運用）の2個飛行隊が置かれていた。しかし、米国防予算強制削減のため、今年9月26日をもって第65アグレッサー飛行隊が閉隊されることとなった。閉隊に伴い、飛行隊が運用していたF-15C/Dのうち12機は州空軍へ、残りの機体は第64アグレッサー飛行隊へ移管される予定だ。

今回閉隊が決まった第65アグレッサー飛行隊は、1940年にアメリカ陸軍の第65戦闘飛行隊として編成された歴史を持つ飛行隊で、正式にアグレッサー飛行隊となったのは1975年のこと。はじめはF-5Eを運用して活動し、1989年に一旦閉隊された。その後、2005年にF-15Cを運用する部隊として復活した。ロシア空軍の制空迷彩や中東諸国のデザート迷彩を模した塗装のF-15C/Dを運用して任務にあたってきた。



デザート迷彩を身にまとった、第65アグレッサー飛行隊のF-15D



第65アグレッサー飛行隊の隊舎内。運用されている機体と同じ迷彩柄の垂直尾翼が壁に飾られている

米空軍F-15 アグレッサー部隊が解隊



3機で編隊飛行する第65飛行隊のF-15。派手なロシア風迷彩やデザート迷彩の塗装はファンからの人気も高い